

Kairoscope Chart Builder Structure

Kairoscopeの `chart_builder.py` は、Human Design チャートの中心的ロジックを統合管理するモジュールです。本構成では、HDの惑星計算・チャンネル接続・プロフィール生成・Variables（PHS含む）を含むチャート全体を組み立てます。

モジュール構成一覧（最新版）

1. `astro/astro_position.py`：黄経取得

- Skyfield を用いて出生データから10惑星の黄経を取得
- Aomori地点を仮固定（将来地理情報と連携可能）

2. `gate_mapper.py`：黄経→ゲート変換

- 黄経を360度でラップ（mod 360）
- 64分割してゲート番号と6ラインに分割

3. `channel_center.py`：チャンネル&センター接続

- アクティブなゲートから、両端が活性化されたチャンネルを抽出
- そのチャンネルが結ぶセンターを定義センターとして抽出

4. `profile_logic.py`：プロフィール導出

- Sun → Personality Line
- Earth → Design Line
- 両者からプロフィールを構成（例: 3/5）

5. `authority_logic.py`：内的権威ロジック

- 定義センターに応じて内的権威を決定
- 現時点では簡易ルール（今後Typeとの組み合わせで強化予定）

6. `variable_logic.py`：Variables計算

- 出生時間のhourを用いた仮ロジックで以下を計算：
 - Digestion（消化）
 - Environment（環境）
 - Perspective（視点）
 - Motivation（動機）
 - Variable（形式：PLL-DRR など）
-

統合ロジック：chart_builder.py

- 惑星位置取得 → 黄経 → ゲート & ライン → ゲート定義照合 → アクティブチャンネル検出
- プロファイル / 権威 / Variables を生成
- 辞書形式で返却

出力形式 (JSON構造)

- `planet_positions`: Sun~Plutoの黄経 (+Earth追加)
- `gates`: 惑星ごとのゲート + 定義情報
- `active_channels`: チャンネル番号 (+Kairoscope拡張名)
- `defined_centers`: アクティブなセンター一覧
- `profile`: 例 "6/2"
- `authority`: 例 "Emotional"
- `variables`: 例 {"Variable": "PLL-DRR", ...}

実行コマンド

```
cd chronogram-kairoscope
PYTHONPATH=. python3 core/chart_builder.py
```

🔥 今後のテストサンプル準備 (Chronogram連携用)

- `samples/sample_chart_full.json`
- `samples/sample_chart_variants.json` (time sweep対応)
- `samples/sample_structure_schema.json` (Chronogram統合用スキーマ)

これによりKairoscopeのコア構造は、今後のMBTI・性格傾向分析やUI出力、チャート対話型AIナビゲーションへスムーズに拡張可能な状態へ移行しました。